

事業所名 放課後等デイサービス きぼう東岩槻

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024年

8月

27日

法人(事業所)理念	地域に名指した医療福祉・地域に必要とされる医療福祉						
支援方針	ご家族、地域の方々と共に、自分らしさを表現できる環境を作り、楽しみながら、社会性を養い、社会に参加する力を育てていく						
営業時間	平日(長期休みを除く)	10時00分	から	19時00分	まで	送迎実施の有無	あり なし
	土・祝 長期休み	8時30分	から	17時30分	まで	提供サービス	放課後等デイサービス ・ 保育所等訪問支援
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日常生活リズムの安定を図る為や体力向上の一環として、体を良く動かすような支援を取り入れている。その中で、体温調整の為の衣服の着脱や、水分補給のタイミング等も伝え、健康管理に努めている。また、時計を見て行動をする為の訓練として、腕時計等を用いた時間管理の支援を行なっている。					
	運動・感覚	感覚統合理論に基づき、室内ではバランスボールやハンモックを活用した支援、屋外活動では公園やプール等を利用した粗大運動を行う事で基礎感覚の刺激入れを行なっている。					
	認知・行動	まずは認知の土台作りとして感覚統合理論に基づいた基礎刺激を入れる事で、認知機能の向上を図っている。同時に、言葉や掲示物などを用いて順番や、使い方伝えている。					
	言語・コミュニケーション	発語の獲得に向けた支援として、言葉で伝えられるよう支援している。また、発語の無い児童に関してはマカトンサイン等を活用し、意思表示が出来るよう伝えている。必要に応じてスマートフォン等のICTを活用したコミュニケーションも図っている(イラストの提示やタイマーによる視覚的アプローチ)。					
	人間関係 社会性	SST(ソーシャルスキルトレーニング)と呼ばれる支援方法を活用し、利用児童の対人トラブルへの支援を行なっている。また、外出活動を積極的に行う事で、社会的なマナーを伝える事や外部施設での過ごし方などを伝え、社会性を培っている。					
家族支援	必要に応じて居宅・事業所内での保護者面談を実施。電話での対応もしており、保護者の要望があれば、LINEを活用した連絡を取っている。(保護者の養育能力向上・日々の悩み相談)				移行支援	進学に向けた個別支援を実施。要望があれば、居宅から学校などへの通学練習なども行なっている。また、学校や就職先との情報共有も行い、進路へのサポートを行なっている。	
地域支援・地域連携	地域のお祭りや、近隣店舗への買い物支援などを通して地域とのつながりを図っている。近隣学童との合同イベントも検討していき、地域の中で児童が過ごせるよう支援していく。				職員の質の向上	社内研修のプログラムを組んでおり、日々の支援技術向上を図っている。外部研修にも積極的に参加し、研修内容の共有を行う事で、事業所全体の支援技術力向上を図っている。	
主な行事等	GW中・年末：BBQイベント開催 年に1度同法人内の事業所合同イベントを開催。 8月：きぼう夏祭り その他、定期的にイベント(工場見学・電車での外出活動)を実施している。						
保育所等訪問支援	月に1~2回の訪問を行い学校や保育園等での生活の中で児童の様子や適切な交友関係を見させて頂く。必要に応じて直接的に関わる支援を行ない、児童にその場で伝える支援に取り組んでいる。また、先生方の関わりの中で支援や児童の特性を伝え、よりよい支援・保育に繋がるよう、感覚統合の知識の提供や連携を計っている。報告等の際はご自宅に訪問し、訪問時の児童の様子や先生方の考え方などを伝え、保護者・学校(保育施設等)・きぼう東岩槻間で連携の取りやすい環境を作っていく。						